

麻しん（はしか） Q & A

Q 1. 麻しん（はしか）の症状は？

A. 感染すると約 10 日～2 週間後に発熱や咳、鼻水といった風邪のような症状が現れます。2～3 日熱が続いた後、一旦解熱し、その後再び高熱と発疹が出現します。発疹が出る前後 1～2 日に頬の粘膜に小さな白い斑点が出る場合があります。

Q 2. 免疫を持っているか確認できますか？

A. 免疫を持っているかは罹患歴やワクチン接種歴、血液検査で確認できます。麻しんに罹ったことが確実である場合は一生免疫が持続するといわれています。ワクチン接種は 95%以上の方が発症を予防できると言われていますが、1 回接種の方は十分な免疫がついていなかったり、徐々に免疫が弱まる場合があります。

Q 3. 麻しん（はしか）の感染可能期間は？

A. 空気感染（飛沫感染）が主な感染経路です。発熱する頃から発疹が出るまでの間、強い感染力があります。症状が現れている間は咳や鼻水に麻しんウイルスが出ます。学校保健安全法では発疹消失後 4 日くらい（または解熱後 3 日）経過するまで出席停止とされていますので、出歩かず家で安静にしておいてください。

なお、空気中の麻しんウイルスは 1～2 時間で感染性を失います。

Q 4. 妊娠の可能性がありますが注意点は？

A. 妊娠中に麻しんに罹ると流産や早産を起こす可能性がありますので、麻しんの流行時は外出を避け、人ごみに近づかないようにしてください。院内では多くの患者さんとの接触を避けるために職員が指示させていただきます。

Q 5. 麻しん（はしか）に罹ったかもしれない時の受診方法は？

A. 他の人へ感染させないよう事前に電話で麻しんに感染しているおそれがあることなどを伝え、受診の仕方を確認してからマスクを着用し、公共交通機関を使わずに来院してください。他の患者さんと接触しないようにご案内しますので、建物外でお待ちください。